



**製・配・販連携協議会にて  
「サプライチェーン イノベーション大賞 2017」を受賞**

三菱食品株式会社（東京都大田区）は、製・配・販連携協議会の「サプライチェーン イノベーション大賞」の選考において「大賞」を受賞し、7月7日、同協議会の総会において表彰されました。

この賞は、製・配・販連携協議会の選考委員会（経済産業省、流通システム開発センター、流通経済研究所等）により、サプライチェーン全体の最適化に向けて製・配・販各分野の協力の下で優れた取組み活動を行った企業に対して授与されるものです。

製・配・販連携協議会は、消費財分野におけるメーカー（製）、中間流通・卸（配）、小売（販）の連携により、サプライチェーン・マネジメントの革新と改善を図ることで産業競争力を高め、豊かな国民生活への貢献を目的とし、2011年5月に経済産業省のご支援のもとで発足されました。

主催は一般財団法人流通システム開発センターと公益財団法人流通経済研究所であり、加盟企業数はメーカー、卸売業、小売業、計53社（2017年6月末現在）となっております。

当社は「製・配・販連携による効率化活動（YYS） 三菱食品が実現する「より良い」ソリューション」と題した取組みを発表し、当社経営方針2020で掲げる「“より良い”を積み重ねて、日本の食を支える」ことを目指します。

#### ■三菱食品株式会社

「製・配・販連携による効率化活動（YYS） 三菱食品が実現する「より良い」ソリューション」概要

##### 1. メーカー様・小売業様との協同による配送の効率化

労働力減少など社会環境の変化と、ニーズ多様化など食品物流環境の要因課題を整理し、製・配・販各層の垣根を越えた業界全体としての持続的成長を具現化すべく、「納品状況の見える化」「発注コントロール」「配車マッチング」等のケーススタディを基にした活動報告。

##### 2. 小売業様との連携による返品削減と在庫適正化

当社が受託する小売業様向けセンターにおける管理数値から各種要因を分析・検証し、カット商品等の取扱いに関する運用と役割を明確化することで在庫残の圧縮と返品を削減。

また情報共有の高度化による「確かなデータ活用」により発注および在庫量の適正化を図った活動報告。

以 上